

8. (Gno.25) 現代アメリカ商取引法の研究 (アメリカ商取引法研究会)

代表：平泉 貴士

1995/11/10 (承認) 1995 年度 (開始)

【研究の目的】

現代経済社会の構造的変化に対応して、アメリカ統一商法典 (U.C.C.) の改正作業がダイナミックに展開している。当研究会においては、主として流通証券、電子資金移動、売買等に関する U.C.C. 諸規定の改正動向を調査研究し、アメリカ商取引法分野の現代的変容の意義と特質を明らかにする。

【研究活動及び成果】

総括

各メンバーが個別に現代アメリカ商取引法およびその関連領域についての研究を継続した。その成果のいくつかが福原紀彦先生古稀記念論文集『法学新報』130巻9・10号にて公表された。

学術雑誌

武田 典浩「イギリス法における債権者利益配慮義務に関する近時の展開－BTI2014事件の分析－」『法学新報』130巻9・10号 (2024年3月)

平泉 貴士「定期傭船者の船舶衝突責任－平成30年改正商法における判例の位置づけを中心として－」『法学新報』130巻9・10号 (2024年3月)